



ジュリオ・ロマーノ「アポロンとムーサイの踊り」

国際シンポジウム 大阪ドイツ文化センター開設50周年記念

「クリエイティブシティズ」再考

グローバル化時代の都市と地域の文化的発展のために

「クリエイティブシティズ（創造都市）」というコンセプトは、この十年間で西洋の諸都市を中心に、都市文化政策の支柱として定着してきました。創造都市政策は、都市に潜在する創造性を集結し、成長と革新プロセスのための新たな視野を開き、都市を活性化させ、住民のQOLの向上を目指しています。このシンポジウムでは、独・中・日3ヶ国のパネリストを迎え、創造都市というコンセプトの展望と限界について、ユネスコ・デザイン都市の北京、ベルリン、神戸など、各都市の事例を通して考察します。

◆ 基調講演・討論 (逐次通訳あり)

- ヨハネス・エーベルト (ゲーテ・インスティトゥート事務総長)
- エンツィオ・ヴェツツェル (ゲーテ・インスティトゥートミュンヘン本部・文化と開発部門長)
- 衣笠 収 (神戸市企画調整局デザイン都市推進室企画推進担当課長)
- 王 文婷 (中国中央美術学院専任講師)
- ウラディミール・クレック (神戸大学准教授)

◆ 司会

- 藤野 一夫 (神戸大学大学院国際文化学研究所教授)



2014年3月28日 (金) 13:30~18:30 (13:00開場)

会場 **KII+O:** デザイン・クリエイティブセンター神戸
〒651-0082 神戸市中央区小野浜町1-4

入場無料・要事前申込 (裏面参照)

主催：大阪ドイツ文化センター、神戸市、神戸大学大学院国際文化学研究所 異文化研究交流センター
後援：大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館



「クリエイティブシティズ」再考ーグローバル化時代の都市と地域の文化的発展のために

- 13:30 - 13:50 挨拶と趣旨説明
- 13:50 - 14:10 「文化媒介者としてのゲーテ・インスティトゥート」ヨハネス・エーベルト
- 14:10 - 15:00 「ゲーテ・インスティトゥートのプロジェクトと経験：変容する都市部での取り組みから」エンツィオ・ヴェッツェル
- 休憩 15 分 —
- 15:15 - 15:40 「クリエイティブシティとしての神戸：理念と実際」衣笠 収
- 15:40 - 16:30 「クリエイティブシティとしての北京と中国の文化政策」王 文婷
- 休憩 15 分 —
- 16:45 - 17:35 「文化クラスター：文化経済的コンセプトの前提と領域」ウラディミール・クレック
- 17:35 - 18:20 ディスカッション
- 18:20 - 18:30 総括

ヨハネス・エーベルト Johannes Ebert



ゲーテ・インスティトゥート事務総長。ウルム生まれ。フライブルク大学でイスラム学（アラビア語、ペルシャ語、トルコ語）と政治学を学ぶ。1991年にゲーテ・インスティトゥートに入所。ミュンヘン、グリーン・アム・キームゼー、アビジャン（コートジボワール）のゲーテ・インスティトゥートで教員としての訓練を受ける。その後キエフ（ウクライナ）、カイロ（エジプト）、モスクワ（ロシア）のゲーテ・インスティトゥートの館長職を経て、2012年より現職。

エンツィオ・ヴェッツェル Enzo Wetzel



ゲーテ・インスティトゥート文化と開発部門長。シュトゥットガルト生まれ。ミュンヘン大学で東方キリスト教文献学、民俗学、ユダヤ学を学ぶかわら、司会者としての訓練も受ける。2000 - 05 年、エジプトのゲーテで文化プログラムを担当。ドイツに帰国後、学術と時事部門の部長に就任する。3つのパイロット地域で「ゲーテ・インスティトゥートにおける文化と開発」という新しい事業分野を立ち上げ、ゲーテ・インスティトゥート・ミュンヘン本部において、責任者としてプロジェクトの戦略と評価の任にあたる。文化部門に新設された「文化と開発」部門の責任者の職に従事する。

王 文婷 Wang Wenting



中国中央美術学院 (CAFA) 専任講師 (ドイツ語、芸術管理学)。クリスト & ジャンヌ＝クロードの作品「梱包された帝国議会議事堂」(1971 - 95 年) における中国人についての論文で CAFA 人文学院芸術管理学部より、また 1978 年以降の中国におけるパブリックアートの発展とドイツ人についての論文でベルリン自由大学文化・メディアマネジメント・インスティトゥート (IKM) より、学位取得。2011 年以降、CAFA および IKM による中独夏季美術管理アカデミーの運営に携わる。

衣笠 収 Kinugasa Osamu



神戸市企画調整局デザイン都市推進室企画推進担当課長。神戸市生活文化観光局生活文化部文化交流課長や神戸市国際文化観光局文化観光部主幹 (文化創生都市担当) を歴任し、神戸ビエンナーレ 2007、2009 を担当した。2010 年 4 月より現職。ひとりひとりが身近な課題や資源に気づき、その解決や活用を図っていくデザイン思考を持つまち「デザイン都市・神戸」を推進。

ウラディミール・クレック Vladimir Kreck



神戸大学准教授 (ヨーロッパの文化と社会)。ドイツのナショナル・マイノリティについての文化政策研究で博士号を取得。ザクセン文化インフラストラクチャー研究所研究員およびコンサルタント、ドイツ・ブランデンブルク州のメディア政策と文化領域に関する連邦参議院担当官を務める。文化政策や文化経済学の方針における発展について研究。



◆お申し込み・お問い合わせ

お名前とご連絡先 (電話もしくはEメール) を明記の上、下記のいずれかまでお申し込みください。

神戸大学大学院国際文化学研究所 異文化研究交流センター
Eメール: kobe.symp@gmail.com

大阪ドイツ文化センター (文化部)

FAX: 06-6440-5901 Eメール: sbpo@osaka.goethe.org

※定員は先着100名とさせていただきます。予めご了承ください。
※基調講演およびディスカッションはドイツ語で行われますが、日本語への逐次通訳があります。